

一人ひとりのニーズに応える保育と教育

－みんなで進める特別支援－



聖徳大学特別支援教育研究室 編

聖徳大学出版会

はじめに

障がいのある子どもに対する保育と教育は、特殊教育から特別支援教育への転換の中で大きく変貌してきています。特別支援教育では、障がい等によるさまざまな学習上・生活上の困難を、一人ひとりの子どもの教育的ニーズとしてとらえ、それぞれのニーズを的確に把握し、必要な支援を生涯にわたって一貫して行うことを目指しています。そのため、すべての園・学校において計画的・組織的に支援体制を整備し、幼稚園や保育所における遊びや生活の在り方、小・中学校等における授業や学級経営の在り方を、一人ひとりの子どものニーズに対応できるよう見直していかなければなりません。このことは、障がいの有無にかかわらずすべての子どもたちの保育・教育を見直すということです。したがって、すべての保育者・教師がかかわるべきものであり、当事者である子ども、保護者、関係機関と連携して取り組むべきものです。本書の副題を「みんなで進める特別支援」とした理由でもあります。このことから、特別支援教育にかかわる基礎的な知識・技能を身に付けることは、保育・教育関係者にとって必須の事柄であり、これから保育士や教師を目指すすべての学生が正しい知識・技能を習得して園・学校の保育と教育に貢献してほしいと願っています。

そこで、本書では、特別支援学校への就職志望者ばかりでなく、幼稚園、保育所、小・中学校や社会福祉施設等への就職志望者も含めて、障害のある子どもの保育と教育に携わる者に必要な最低限の基礎的な知識・理解を最新の知見に基づいて提供することを目指しました。特に、幼児期の保育から学齢期に至る一貫した支援を実現するため、幼稚園、保育所、小学校等の通常の学級における環境構成や指導等の実際について、重点的に解説しました。

本書を通じて、すべての保育・教育関係者や学生が特別支援教育についての正しい理解を深め、我が国が目指す障がいのある人と障がいのない人が互いに人格を尊重し合い助け合う、「共生社会」建設の一翼を担う人材となることを祈念してやみません。

編著者一同

※ 使用している用語について

「障害」という用語については、内閣府の下に設置された障がい者制度改革推進会議において「障害」のほか、「障碍」、「障がい」、「チャレンジド」等のような見解があることを踏まえて検討してきましたが、「障害者制度改革のための第二次意見」（平成22年12月17日）では、現時点において特定の表記に決定することは困難であると結論づけています。本書では、このような経緯を踏まえ、法令や医学用語等として使用されているものについては「障害」、その他の場合には「障がい」という表記を基本として記述しました。したがって、この両方の表記が混在していることについてご了解願います。

も く じ

第 1 章 特別支援教育とは

1 - 1	特別支援教育とは	2
1 - 2	特別支援教育の意義	3
1 - 3	特別支援教育の制度と教育課程	5
1 - 4	対象となる子どもを見る視点	12
1 - 5	個別の教育支援計画と個別の指導計画	15
1 - 6	特別支援教育の課題	18

第 2 章 視覚障害児の理解と保育・教育

2 - 1	視覚障害とは	20
2 - 2	視覚障害児の心理的特性の理解と支援	22
2 - 3	視覚障害児の保育と教育	29

第 3 章 聴覚障害児の理解と保育・教育

3 - 1	聴覚障害とは	36
3 - 2	聴覚障害児の心理特性の理解	39
3 - 3	聴覚障害児の保育と教育	42

第 4 章 知的障害児の理解と保育・教育

4 - 1	知的障害児の病理・生理	58
4 - 2	知的障害児の心理特性	65
4 - 3	知的障害児の保育と教育	70

第 5 章 肢体不自由児の理解と保育・教育

5 - 1	肢体不自由児の病理・生理	76
5 - 2	肢体不自由児の心理	84
5 - 3	肢体不自由児の保育と教育	89

第 6 章 病弱・身体虚弱児の理解と保育・教育

6 - 1	病弱・身体虚弱児の病理・生理	102
6 - 2	病弱・身体虚弱児の心理	107

6-3	病弱・身体虚弱児の保育と教育	112
-----	----------------	-----

第7章 発達障害児の理解と保育・教育

7-1	発達障害とは	118
7-2	自閉症スペクトラム障害児の理解と指導	119
7-3	LD（学習障害）児の理解と指導	125
7-4	ADHD（注意欠陥多動性障害）児の理解と指導	130
7-5	発達障害児に対する具体的な指導方法	132

第8章 情緒障害児の理解と保育・教育

8-1	情緒障害児の理解	150
8-2	情緒障害児の指導の実際	156

第9章 言語障害児の理解と保育・教育

9-1	言語障害児の理解	162
9-2	言語障害児の保育と教育	165

第10章 幼稚園・保育所における保育の実際と工夫・改善

10-1	障がいのある幼児への保育と教育の制度	174
10-2	障がいのある幼児への保育の実際	177

第11章 小学校通常の学級における指導の実際

11-1	児童の特性に応じた指導の在り方	186
11-2	一斉指導における配慮や支援の在り方	195

第12章 保護者、関係機関等との連携の進め方

12-1	特別支援教育学校（学級）と福祉関係機関との関係	200
12-2	医療、保健、福祉との連携	203

参考資料

執筆者一覧

執筆者一覧

(執筆順)

- 河村 久 聖徳大学児童学部教授。特別支援教育士スーパーバイザー。
専門領域：知的障害・肢体不自由・発達障害教育，教育課程，指導法。
主な著書等：「学級づくりのユニバーサルデザインー小1担任の全仕事」編著
明治図書 2010。「つまずきのある子の学習支援と学級経営」共編著，東洋館出版
2003。
(分担箇所：はじめに，1-3，1-5～6，5-3，第8章)
- 佐々木順二 聖徳大学児童学部講師。博士(心身障害学)。
専門領域：障害原理論，聴覚障害教育学。
主な著書等：「特別支援教育を創造するための教育学」分担執筆 明石書店 2009。
「障害科学とは何か」分担執筆 明石書店 2007。「和歌山県立盲啞学校の創設期
(大正4～11年)の教育的課題と和歌山聾啞興業会設立の経緯」単著 心身障害学研
究 29巻1～16ページ 2005。
(分担箇所：1-1～2，1-4，第3章，6-3，第9章)
- 青柳まゆみ 筑波大学大学院人間総合科学研究科助教(聖徳大学兼任講師)。修士(心身障害学)。
専門領域：視覚障害教育。
主な著書等：「みんなで考えよう障がい者の気持ち第1巻 視覚障がい」監修 2010
学研出版「視覚障害指導法の理論と実際」共著 2007 ジアース教育新社「視覚障
害学生サポートガイドブック」編著 2005 日本医療企画
(分担箇所：第2章)
- 松浦信夫 聖徳大学児童学部教授。北里大学医学部小児科元教授。北海道大学医学部卒。医
学博士，小児科学。
専門領域：小児内分泌・代謝・糖尿病学。
主な著書等：「小児糖尿病の臨床」永井書店，「小児糖尿病の自己管理」医薬ジャー
ナル社
(分担箇所：4-1，5-1)
- 腰川一恵 聖徳大学児童学部講師。博士(教育学)，臨床発達心理士。
専門領域：知的障害，発達障害児の心理特性や発達支援。
主な著書等：「ダウン症ハンドブック」共著 日本文化科学社 2005「教師のた
めの学校カウンセリング」共著 有斐閣 2008
(分担箇所：4-2～3，5-2，6-2，第10章)
- 宮川三平 聖徳大学児童学部教授。医学博士。
専門領域：小児保健，小児栄養，病弱児教育。
主な著書等：「輝く子どもたち 児童福祉学」共著 八千代出版 2001「保育者のた
めの新・小児栄養学」共著 医歯薬出版株式会社 2011 など
(分担箇所：6-1)



9784915967320

一人ひとりのニーズに応える保育と教育
—みんなで進める特別支援—



1920037015244

ISBN978-4-915967-32-0

C0037 ¥1524E

発行／聖徳大学出版会

定価／本体 1,524円＋税